

「Toolbox」から標準部品（ねじ，座金等）を呼び出す

アセンブリにおいて、ねじや座金といった規格で定められている標準部品は作成しなくとも Toolbox から呼び出すことができる。ここでは穴に平座金をかませるねじを挿入する方法について解説する。

- ① Toolbox は画面右側にある「タスクパネル」の上から 2 番目のタブ、「デザインライブラリ」の中にある（図 1）。タスクパネルが無い時は「表示」の「タスクパネル」を選択（図 2）。

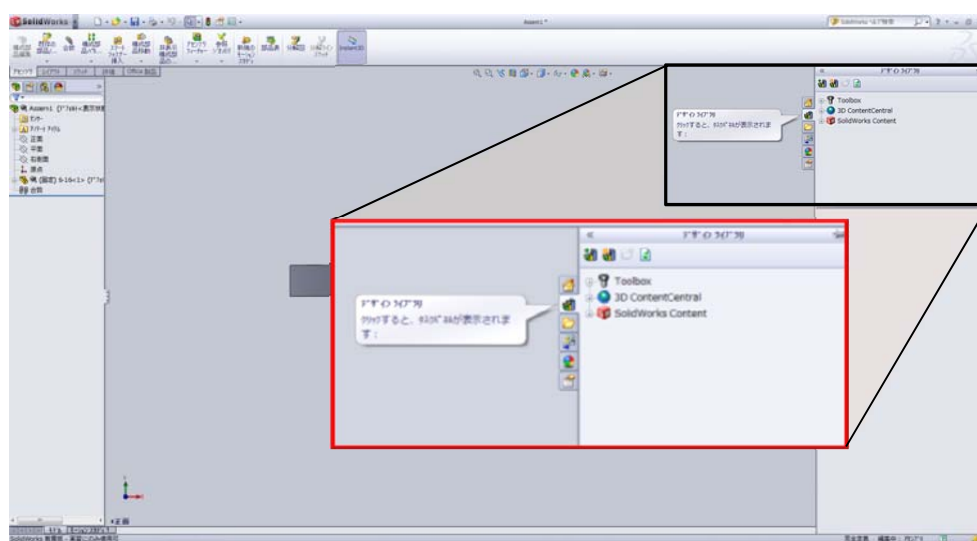


図 1.

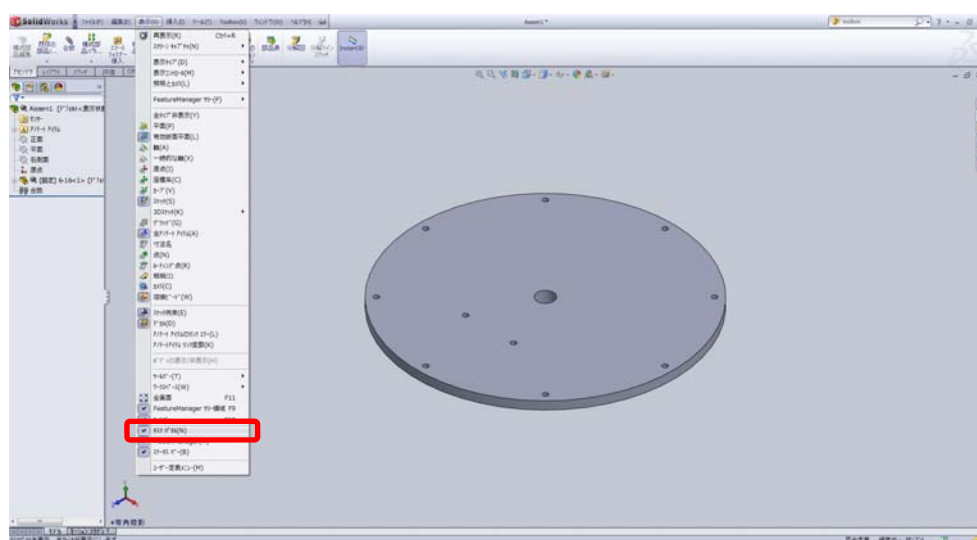


図 2.

- ② Toolbox をクリックすると様々な国の規格が表示される。ここでは「JIS」を選択する (図 3). 次に「座金」, 「平座金」と選択していくと 5 種類の平座金が表示される (図 4). 座金は用途に合わせて選択すればよい.

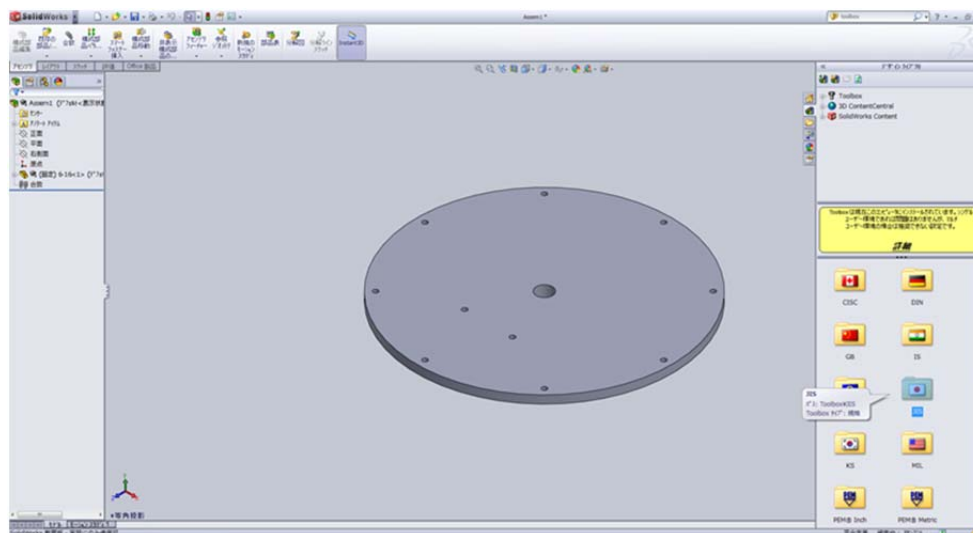


図 3.

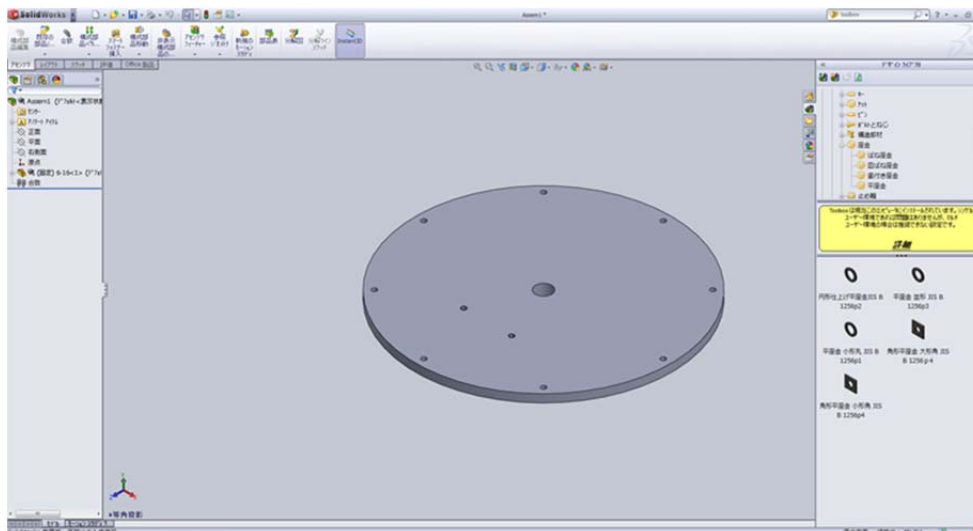


図 4.

- ③ アセンブリに挿入したい座金を選択, ドラッグし, 穴のところまで持っていくと部品の寸法合わせと同心円・面の一致条件の定義が自動的に行われる (図 5). (挿入したい座金を右クリックし「アセンブリに挿入」を選択しても挿入は可能だが別に合致を行う必要がある.) また座金のサイズは表示されるボックスあるいは画面左手にある Feature

Managerの「プロパティ」から変更できる。

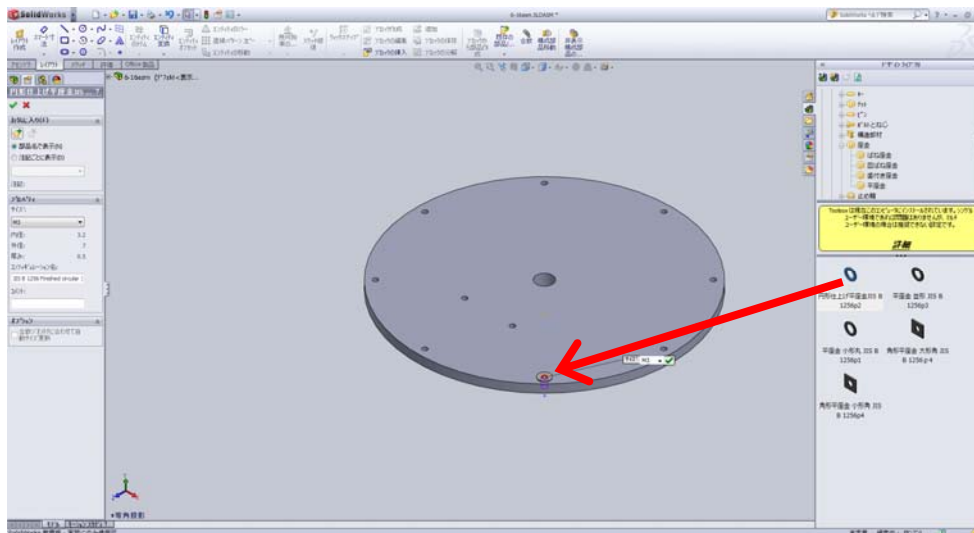


図 5.

- ④ 座金を挿入し「OK」を選択すると「構成部品の挿入」となり複数の座金を挿入することができる。作業を終了するには「キャンセル」をクリックするか **Esc** キーを押す。
- ⑤ ねじも同様に **Toolbox** 内の「ねじ」の中から選択し挿入すればよい (図 6)。ドラッグして座金の上まで持っていけば挿入できる。

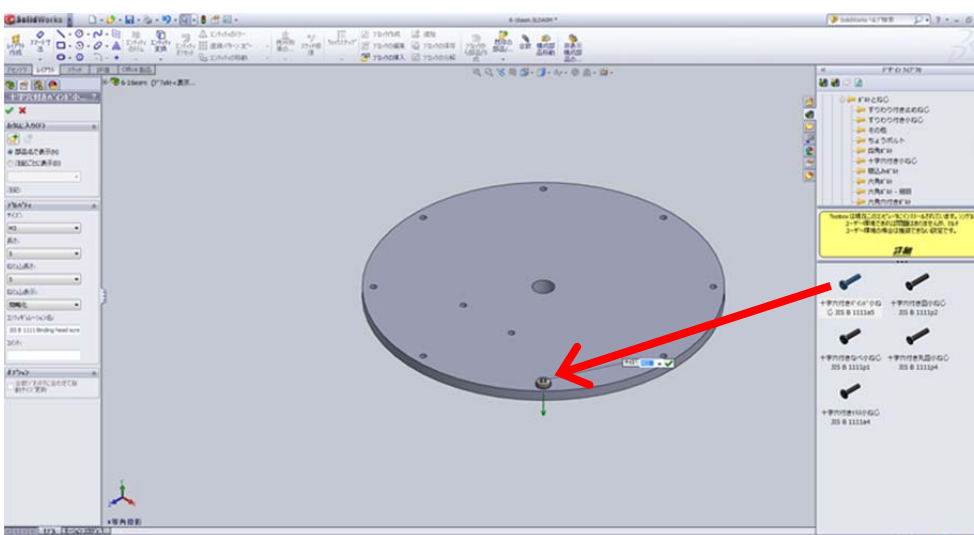


図 6.

—おまけ—

図 7 のような円形に並んだ部品は「構成部品パターン」の「構成部品パターン (円形パターン)」(使用方法はスケッチでの円形パターンとほぼ同じ) を用いて複数個規則的に並べることができる。つまり円形に並んだ部品であれば 1 組だけ挿入・合致を行い円形パターンで並べれば効率がよい。

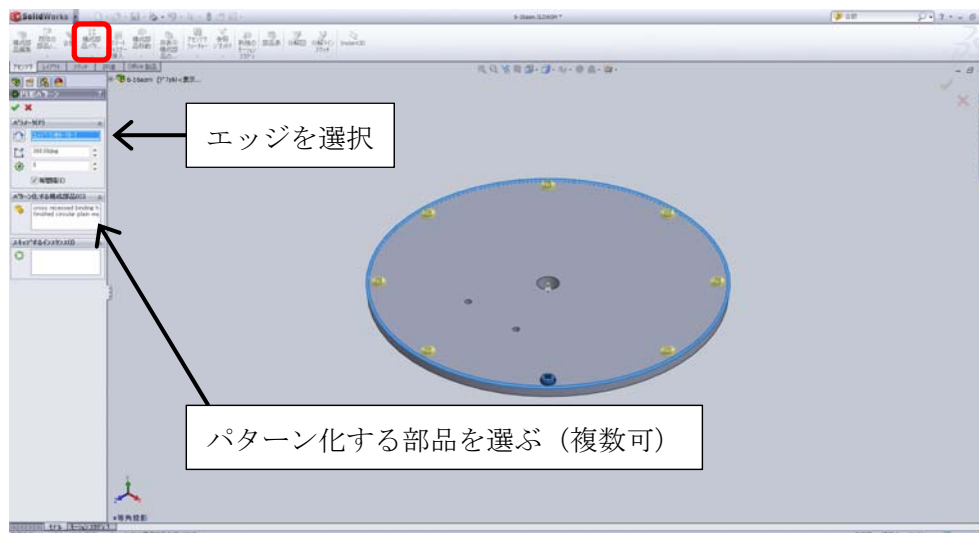


図 7.